

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公表番号】特表2010-503755(P2010-503755A)

【公表日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-528403(P2009-528403)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/24 (2006.01)

C 0 8 F 114/18 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 2/24 Z

C 0 8 F 114/18

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月24日(2010.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

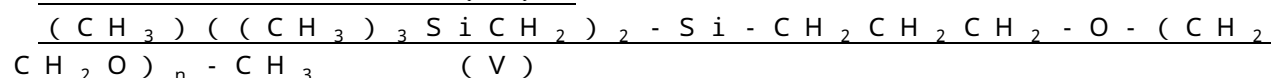
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのシリコン原子を有する少なくとも 1 つの疎水性部分と少なくとも 1 つの親水性部分とを有するカルボシラン界面活性剤（ただし、前記カルボシランは Si - O 結合を含有しない）の存在下で、水性乳化重合にて、少なくとも 1 つのフッ素化オレフィンモノマーを重合させる工程を含み、

前記カルボシランが、一般式（V）：



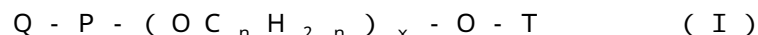
（式中、n は 5 ～ 20 から選択される）

を有するものから選択される、方法。

【請求項 2】

少なくとも 1 つのシリコン原子を有する少なくとも 1 つの疎水性部分と少なくとも 1 つの親水性部分とを有するカルボシラン界面活性剤の存在下で、水性乳化重合にて、少なくとも 1 つのフッ素化オレフィンモノマーを重合する工程を含み、

前記カルボシランが、一般式（I）：



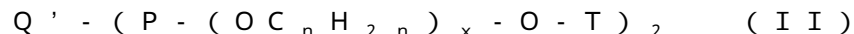
（式中、Q は、 $\text{R}_3\text{Si-}$ 及び $\text{R}_3\text{Si-(R'-Si(R)}_2\text{)}_a\text{-R'-Si(R')}_2\text{-}$ から選択され、各 R は、1 個～18 個の炭素原子を有する脂肪族基、6 個～12 個の炭素原子を有する脂環式基、及び 6 個～12 個の炭素原子を有する芳香族基から独立して選択され、R' は、1 個～14 個の炭素原子を有するアルキレン基であり、a が 0 でない場合には R' は R であり、a が 0 の場合には R' は R 及び $\text{R}_3\text{SiR'}$ から選択され、a の値は、0 ～ 2 であり、P は 1 個～18 個の炭素原子を有するアルキレン基及び AR' ' （式中、A は 1 個～18 個の炭素原子を有するアルキレン基であり、R' ' は、 -NHC(O)- 、 $\text{-NHC(O)(CH}_2\text{)}_{n-1}\text{-}$ 、 -NHC(O)C(O)- 、 $\text{-NHC(O)(CH}_2\text{)}_v\text{C(O)-}$ 、 -OC(O)- 、 $\text{-OC(O)(CH}_2\text{)}_n\text{-}$ 、 -OC(O)C(O)- 、 $\text{-OC(O)(CH}_2\text{)}_v\text{C(O)-}$ 、 $\text{-OCH}_2\text{CH(OH)CH}_2\text{OC(O)(CH}_2\text{)}_{n-1}\text{-}$ 、及び $\text{-OCH}_2\text{CH(OH)CH}_2\text{O}$

$C(O)(CH_2)_vC(O)-$ から選択される官能基であり、 v は 1 ~ 12 である。
) から選択され、 T は、 H 、1 個 ~ 10 個の炭素原子を有するアルキルラジカル、及び 1
 個 ~ 4 個の炭素原子を有するアシルラジカルから選択され、 x は 1 ~ 200 であり、 n は
 1 ~ 6 である) を有するものから選択される、方法。

【請求項 3】

少なくとも 1 つのシリコン原子を有する少なくとも 1 つの疎水性部分と少なくとも 1 つ
 の親水性部分とを有するカルボシラン界面活性剤の存在下で、水性乳化重合にて、少なく
 とも 1 つのフッ素化オレフィンモノマーを重合する工程を含み、

前記カルボシランが、一般式 (II) :



(式中、 Q' は $-SiR_2-X-SiR_2-$ であり、 X は、直鎖アルキレン基、分枝状アル
 キレン基、シクロアルキレン基、1 つ以上の酸素含有基を持つ直鎖アルキレン基、1 つ
 以上の酸素含有基を持つ分枝状アルキレン基、及び 1 つ以上の酸素含有基を持つシクロア
 ルキレン基から選択され、 P は、1 個 ~ 18 個の炭素原子を有するアルキレン基及び AR
 $' ' '$ (式中、 A は 1 個 ~ 18 個の炭素原子を有するアルキレン基であり、 $R' ' '$ は、
 $-NHC(O)-$ 、 $-NHC(O)(CH_2)_{n-1}-$ 、 $-NHC(O)C(O)-$ 、 $-$
 $NHC(O)(CH_2)_vC(O)-$ 、 $-OC(O)-$ 、 $-OC(O)(CH_2)_{n-1}$
 $-$ 、 $-OC(O)C(O)-$ 、 $-OC(O)(CH_2)_vC(O)-$ 、 $-OCH_2CH(OH)CH_2OC(O)(CH_2)_{n-1}-$ 、及び
 $-OCH_2CH(OH)CH_2OC(O)(CH_2)_vC(O)-$ から選択される官能基であり、 v は 1 ~ 12 である。) か
 ら選択され、 T は、 H 、1 個 ~ 10 個の炭素原子を有するアルキルラジカル、及び 1 個 ~
 4 個の炭素原子を有するアシルラジカルから選択され、 x は 1 ~ 200 であり、 n は 1 ~
 6 である) を有するものから選択される、方法。